

講座名：『街歩きに関する講座』

講 師：金子 祐介(観光学部 観光学科)

開講日：10月24日(金)、11月15日(土)、12月6日(土)

講座のねらい

コロナ禍以降、テレビでも「まち歩き」番組が増えました。けれど多くの番組は、観光を享受する側の視点が先に立って、食べ歩きや名所旧跡めぐりが中心です。とくに、出演者の年齢層にかかわらず、紹介される立ち寄り先が「映える（写真写りがいい）」「話題になる（SNSに掲載したら評価してもらえる）」といった、消費型の体験に寄りやすい傾向も見られます。

また「まち歩き」と聞くと、軽い運動による健康づくりやダイエット、あるいは脳の活性化やストレス解消といった心身の改善を思い浮かべる人もいるかもしれません。

しかし本講座で行う「まち歩き」は、それだけを目的にしたものではありません。私たちが日ごろ暮らしている自分たちの地域をあらためて見直し、「この地域をもっと良くするには、何ができるだろう？」を参加者のみなさんと一緒に考えるためのプログラムです。

「地元のことならよく知っている」と思っている、歩く視点やテーマが変わると、意外な発見がいくつも出てくるものです。本講座では、その「気づき」を手がかりに、地域の魅力や課題を整理し、活性化につながるアイデアへとつなげていきます。

◎2025年度の〈まち歩き〉

2025年度の「街歩きに関する講座」では、千葉県山武郡市にある 九十九里町・片貝周辺 を〈まち歩き〉しました。

片貝には、千葉県内でも有数のイワシ漁を支える漁港があり、県内の方なら一度は海産物を目当てに足を運んだことがあるかもしれません。また、海水浴場としても知られているため、子どもの頃に泳ぎに行った経験がある人もいるでしょう。

けれど、ここで一つ問いかけたいのは、「最近の九十九里町がどうなっているか、皆さんは知っていますか？」ということです。私たちは“知っているつもり”の場所ほど、実は更新されないまま記憶の中に残っていることがあります。

そこで本講座では、近年の九十九里町の変貌を自分たちの目で観察し、地域の「いま」を捉え直すことを目的に、まち歩きを実施しました。

○各回の内容

第1回「<まち歩き>ってなんだ？」

内容： <まち歩き>をすることで理解できることとはどのようなものか。

また、<まち歩き>からつながる取り組み（地域の見方・考え方、発見を活かす方法）について紹介します。

第2回・第3回「現地での<まち歩き>の実施」

内容： 現地で目的を持った<まち歩き>を実施しました。

※2026年度は 横芝光町 での実施を検討中です。

第4回「振り返り」

内容： 振り返りと、発見した地域のイメージの共有を行います。

○受講者の声

- 今まで旅行した時とは違う視点を持つことができた。
- 目的を持った「まち歩き」は貴重な体験だった。
- 意外に地元のことを知らないことがわかった。
- 様々な考え方や見方が大切であると感じた。
- もっと他のまちも歩いて比較してみたい。



【お問合せ】
城西国際大学 社会連携課
Mail: clics-jim@jiu.ac.jp
TEL: 0475-55-7685